



通巻 No.260 2025年7月6日

教会報ほんじょ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2 TEL: 03-3623-6753 FAX: 03-5610-1732
https://www.catholic-honjyo-church.org

INDEX

- 「聖年七か月目」
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- その他

「聖年七か月目」

主任司祭 パウロ 豊島 治

七月のご挨拶を申し上げます

今年も半分が過ぎ、残すところあと半年の「聖年」となりました。新しい教皇様のもと、通常の聖年行事も滞りなく進められています。詳細については、バチカンや日本司教団が発信するインターネットニュースサイトをご覧ください。

□聖年と向き合う

映画『パーフェクト・デイズ』に触れて

厳しい暑さが続いており、冷房を適切に使い、室内で過ごすのが賢明でしょう。聖年にふさわしい映画として推薦されているのが、ヴェンダース監督の『パーフェクト・デイズ』です。映画館での上映はすでに終了していますが、Amazonなどのサイトで視聴できます。渋谷の公共トイレを舞台に描かれたこの人間ドラマは、私にとって創世記の記述を思い起こさせるものでした。スカイツリーも登場し、皆様にも親しみを感じていただけるのではないのでしょうか。

□聖座國務長官の来日

先月最後の日曜日、大阪の万博会場でバチカンのナショナルデーが開催

されました。ご存知の通り、教皇様は私たちの信仰の指導者であるとともに、世界に向けて重要なメッセージを発信される方です。この式典には、先日開催されたコンクラーベで首席枢機卿に代わって選出を進行されたピエトロ・パロリン枢機卿が来日されました。國務長官という首相に相当する肩書きを持つ枢機卿は、大阪力テドラルでのミサ、東京への移動後のカテドラルでの聖職者の集いミサ、首相との会談、皇族との接見、日本の政治家との意見交換など、多忙な日程をこなされました。

□本所教会「もうすぐ150」企画

今夏もあります！

当教会は、あと4年で創立150周年を迎えます。その機運を盛り上げるべく、昨年「もうすぐ150」と題し、本所教会にゆかりのある司祭をお招きして主日ミサを司式していただく企画を実施しています。今年は、なんと2人の司祭をお迎えできることになりました。

・中村克徳神父様

8月3日(日) ミサ司式

2005年に叙階された中村神父様は、2001年から4年間、本所教会で司牧実習という形で奉仕してくださいました。現在は大阪高松教区池田教会の主任司祭を務めておられます。『新婚さんいらっしゃい』前司会者である桂三枝さん(現・桂文枝さん)が結婚式を挙げられた教会としても知られています。中村神

父様は、本所教会での経験が今の司祭職の基礎となっていますとおっしゃってくださいます。ミサ後にはささやかな茶話会を設けますので、当時は懐かしみ、今を考える機会となれば幸いです。

・染野治雄神父様

8月10日(日) ミサ司式

染野神父様は現在、御受難会(修道会)の日本管区長という重責を担っておられます。詳細については次号で改めてご紹介しますが、神父様のご心身の健康のため、今からお祈りくださいますようお願い申し上げます。

□聖年のモットー「希望」

聖年推奨映画として指定された『パーフェクト・デイズ』についてパウロ会の司祭は、次のように語っています。「この映画は私個人に語りかけてきた。(中略)身の回りのことに目を向けよう、通り過ぎる時には気づかない人々にも目を向けよう、自分自身にも目を向けよう、自然にも目を向けよう。特に、木々に目を向けよう、木々は、光と闇の相互作用のなかで、影や模様、陰影を作り出す。木々を通して、自分が世界の中でどのような位置にいるのか確認し、目の前にある希望を見いだそう。」

7月という時を有意義に過ごせるよう、心から願っています。